

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を！

# ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター  
Fujimino International Cultural Exchange Center

2022年5月号(年3回発行) 第159号

## 埼玉グローバル賞をいただきました

令和4年2月7日、知事公館で大野元裕知事より「埼玉グローバル賞」をいただきました。「地域の外国人を支える活動を行い、地域の国際化の推進に貢献した功績をたたえる」という表彰でした。FICECの継続的で地道な外国人支援活動を評価していただけたことをとても嬉しく思いました。

この賞をいただくと「埼玉親善大使」の役が自動的に委嘱されます。埼玉親善大使とは、埼玉県と世界の国々との架け橋として友好交流の推進に協力する役だそうです。

FICECの理事・スタッフ・ボランティア全員が親善大使に任命されたわけで、責任重大です。具体的に何をしたらよいか解りませんが、地域で暮らす外国人と市民の架け橋になれるように頑張ります。

知事さんと直接お会いできる機会はなかなかないので、①埼玉県民の38人に1人が外国籍の人であること②在留外国人の半数以上を特別永住者・永住者・定住者が占めており、数年だけ日本で働いて母国に帰る予定の外国人は少なく、大半の人が日本に永住することを望んでいて、在留外国人問題は今や市民としての課題であることをお伝えしました。

また今、話題になっている麻布中学の入試問題の話もしました。社会科の入試の全ページが、国籍法や在留カード、植民地支配や難民問題、労働力不足と外国人労働者問題だったことです。

もはや中学生を含む日本人の皆が在留外国人問題を考えなければいけない時代になってきているという現実です。幸い、長年にわたり外務省日本大使館員として活躍されてこられた大野知事は笑顔で大きくうなずいてくださいました。

国内だけでなく、ウクライナなど外からの大きなうねりも起きています。それらを含めて私たちはどうするべきか、何が出来るのか、国や県・市町の施策に沿って考えていきたいと思います。



## 同行通訳養成講座

三宅万里子

赤い羽根共同募金からの「外国にルーツがある人々への支援活動応援助成金」によって今回の同行通訳養成講座の開催が実現しました。これは4月～8月の5カ月間にかけて月2回の周期で受講者10名限定とした講座です。

通訳の種類は限りなくありますが、この講座では「コミュニティ通訳」を目指します。これは日本では比較的新しい通訳の種類ですが、地域に住む外国人に教育、司法、病院、行政などでのコミュニケーションの仲立をする通訳業務です。外国人が今後ますます増加する日本で、このジャンルの通訳の必要性がより高まると考えます。

通訳者の心得としては自分勝手な解釈をしてはいけないし、異文化のコミュニケーション役を務めるという意識を持つことが大事です。ですから、自分自身の異文化理解への向上に努力をしなければなりません。又、「ことば」は通訳者にとって大事なツールですので、常に「ことば」の意味を考え、言語理解力と表現力の向上に努力を惜しまない事が大事です。

通訳は大まかには逐次通訳と同時通訳の二つに分かれます。逐次通訳はスピーカーの話の区切って、一区切りごとに順次通訳してゆく方式です。通訳の中での基本で、一つのまとまった考えを表す長さで区切ります。通訳者はスピーカーの話を聞き、ノートテイキングをしながら、区切りごとに通訳を始めます。同時通訳に比べて時間は倍かかります。

同時通訳は聞くこと、話すことを同時に行いながら通訳してゆく方式です。通訳者がブースに入り、又は無線ポータブル機を使い、送信装置を通

して通訳をする方式です。今回の講座では逐次通訳方式で理論、通訳のテクニック、語彙の強化をし、日英、英日の訳出しの演習をしていく計画です。

そして4月10日に第一回目の講座をスタートしました。全員それぞれのバックグラウンドをお持ちの受講生の方々の自己紹介は大変参考になりました。日本語教師の資格をお持ちの人、要約筆者でJICAでグアテマラで活躍された人、正看護師で県警や検察で通訳の経験を積まれた人、中国ルーツで日本語、中国語、モンゴル語が堪能の人、翻訳会社で語学経験を長年積まれた人、日本語教師の資格保持し、3年間ベトナムに在住、帰国後行政書士の資格を取得し外国人クライアントと接している人、医療通訳経験者で通訳案内士の資格保持者の人、英語大好きで独学で英語を学び外国人の友人がたくさんいる人などなど。自己研鑽と共に外国人の支援をしたいという高い志を持った方々です。8月まで通訳養成講座が続きます。みなさんとともにがんばります。



上／講師が作成した同行通訳養成講座用冊子 下／第一回講座の様子。8月まで毎月2回開催します。

## アニメや漫画が日本語学習のモチベーション

## パセ ミコ ファクトラン

私は日本人の父とフィリピン人の母の間に生まれましたが、生まれた時にはすでに実の父と母は離婚をしていました。そして母の妹、私の叔母に当たる人に預けられて育ちました。私が8歳の頃に日本に初めて行きました。初めての海外でもあり環境も全然違うので、不安でいっぱいでした。学校も海外からの編入ということもあり、馴染めるか不安でしたが、クラスの子たちは優しくなかったのを今でも覚えています。

勉強も大変でした。今までと違う言語ということもあり、ひらがなとカタカナを一から勉強する日々でした。それもあってか、あの時は通常の授業には参加せず個別で勉強していました。その時に教えてくれたのが戸塚先生たち、ボランティアの方々でした。

その時はひらがなとカタカナを勉強したり、そしてオセロを教えてもらってからは、授業の合間に遊んだ記憶があります。そこから少しずつ日本の文化にふれていきました。一から新しい言語を覚えるのは大変でしたが、周りの人達が親切に教えてくれたおかげでおぼえられました。フィリピンに戻っても日本語を忘れることもなく、大学生のころには日本語能力試験N1に合格しました。

フィリピンにいる時も日本語の勉強のモチベーションになったのは日本のアニメと漫画でした。今では世界にも広まっている日本のサブカルチャーであり、外国人が日本語の単語や言葉を覚えるにはお勧めです。昔テレビや漫画で見たり聞いたりした漢字や単語は、後に勉強している時に同じものが出てくると、記憶に残っていたので覚えやすかったです。

現在進行形で日本で仕事でできているのは、昔日本語を教えてくれた戸塚先生およびボランティアの先生方のおかげです、ありがとうございました。



・ パセ・ミコくん (週4日4時間) 上野台小学校 4年2組 1学期

時間割						
	2006年度 取り出し授業	月	火	水	木	金
1	8:50 ~ 9:35	総合	国語	算数	算・国	算数
2	9:45 ~ 10:30	理科	算数	道徳	社会	図・理
3	10:50 ~ 11:35	国語	体育	総合	国語	体・社
4	11:45 ~ 12:30	算数	理科	国語	音楽	学活
給食・昼休み						
5	1:55 ~ 2:40	国語	社会	体育	図工	国語
6	2:50 ~ 3:35	/	音楽	クラブ	総合	/
		:	:	:	:	:
[場所]	会議室	現代	戸塚	戸塚	/	現代

当時の時間割(戸塚先生所有)。木曜日以外の毎日一時限だけ、別の場所でボランティアの先生と一緒に日本語を勉強しました。





## スタッフ紹介①

### お役に立てるかな？

清水 昭彦

こんにちは。昨年10月からFICECでボランティアとして活動させていただいてます、清水と申します。昨年の3月末で完全退職になって後「何をしようかな」と考える中で、以前からその活動内容を存じ上げていたFICECさんで活動させていただければということで始まった次第です。退職に至るまでの仕事で、海外勤務の経験もあり、英語もそれなりにこなせることから、何かお役に立てればという気持ちでした。

日本で暮らす外国人の方々は、言葉の問題だけでなく生活面でも困難に面しています。これまでの人生、生活面のことはほぼ配偶者に任せてしまってきた身としては、中々に対応が難しいと思われることも多くあり、果たしてどの程度

お役に立てるのか、日々「???」という気持ちを抱えながらの活動となっております。今の所は新米ボランティアとして横で眺めているだけですが、これから本当にお役に立つためには改めての勉強も必要と覚悟することもあり、とは言えあせっても仕方がないということで、ゆっくり構えながらとりあえずやれる所からと考えております。

さて、私事ではありますが、趣味は音楽。鑑賞も好きですがコーラス活動なども行っており、同好の方がおられれば鑑賞や活動の機会など共有いただければうれしく思います。

これから来る夏。温暖化でまた猛暑？などなど思いつつ、皆様、是非エンジョイされますよう。



## スタッフ紹介②

### 日本に来た外国人を応援したい

芹沢 秀樹

車を運転中にふと見たFICECという看板に目が留まり、何をしているのだろう？という興味から中を覗いてみたことがきっかけで、優しいお姉さま方？との交流が始まり数ヶ月が経ちました。

今までであれば仕事や子育てで忙しかったこともあり、何か興味があっても素通りしておりましたが、子どもが大学生になり時間に余裕が出来たことや、コロナ禍で在宅の仕事が増えたことなども重なり、何か新しい事でも始めたいね、と夫婦で話していたのも良いタイミングでした。

私自身も語学に興味があったので、国際交流という言葉にとっても惹かれ、実際にスタッフとして活動していると、多言語が飛び交う未知の世界でした。今まで仕事で英語を使うなどという環境もなく、若い時から勉強は苦手というより嫌いなタイプでしたので、50歳を過ぎてからの語学勉強

はとても楽しいです。

そのような状況のなか、先日初めてフィリピンの方に日本語を教えるという経験がありました。日本語は母語とする私にとっては簡単な言葉でも、第二言語を習得しようとする人にはとても難しいものです。教えた際に感じた感想は、日本語は難しい！ひらがな・カタカナ・漢字があり、多種多様な言い回しが多過ぎます。数字の読み方だけでもたくさんある事にあらためて気付きました。日本語を習得するという彼らの目標が、無事達成できるよう応援したいと思います。

仕事と両立しながらのボランティア活動ですので、参加できる時間も限られてはおりますが、生活相談を通して多くの外国人の方が日本に来て良かったと思って頂けるよう活動し、私自身も成長したいと思います。



この度は「埼玉県のふじみ野市・富士見市・三芳町の絵コンテスト」にご応募・応援いただきありがとうございます。応募いただいた全作品の展覧会を次の日程で開催します。  
日本で頑張っている子供たちに大きな励みになることを願っています。  
是非足を運んでみてください。お待ちしております。

## え てんらんかい 絵コンテストの展覧会をします

	期 間 10:00～17:00	場 所
三芳町	7月29日(金)～8月4日(木)	藤久保公民館
ふじみ野市	8月22日(月)～26日(金)	ふじみ野市役所本庁ロビー
富士見市	8月27日(土)～28日(日)	キラリ☆ふじみ アトリエ

※くわしいことは FICECへ きいてください

## 見送りの3振より空振りの3振 パートⅡ・最終回

石井ナナエ

〇月〇日

平成31年に入国管理局が出入国在留管理庁になったのを機に、3ヶ月に1度、入管職員がFICECに出向いて下さって、入管法の講習を受けられるようになった。

時代やコロナの影響で入管法はコロコロ変わる。文言だけで読み説くのは難しく、かといって年間600件前後の生活相談が持ち込まれるFICECで間違ったアドバイスをするのは絶対避けたい。

特定活動、仮放免・技能実習・就労制限など、生活相談の実例に合わせて、わかりやすく事細かく教えてくれる。受講後、私たちがなりにまとめて入管に送信すると、間違いを直して返信してくれる。それをスタッフBBSで皆に送信し、正しい最新の情報に基づいてアドバイスに活用している。ありがたいことである。

〇月〇日

今年も桜の季節が来た。日本に生まれ日本で暮らせることを幸せに思いながらも、桜の時期はことさらその思いを強くする。日本のどこかでしか見られない名所も良いが、日本中どこの市町村でも必ず数カ所は名所があるという桜は、まさに日本の花と言えると思う。

私がことさら好きなのが生まれ故郷の志木の新河岸川の桜。志木駅からバスで5分、市役所前で降りて川の堤を歩く、往復800円で行かれる名所。毎年2.3回は満開の桜を満喫している。

ウクライナの悲惨な映像を見た後で、この平和で静かで穏やかな風景に浸っている自分に後ろめたささえ感じるが、FICECとして何が出来るか、皆で考えて実行していきたいと考えている。

今回を持ってこのコーナーは最終回になります。長い間読んでいただいてありがとうございました。

## 子どもたちが話せるようになる姿を見るのが楽しい

日本語指導担当教師 / FICECスタッフ 江科 さん

将来貿易の仕事がしたかったので、外国の大学を卒業すれば箔が付くと思い日本に来ました。当時山口百恵主演のドラマが好きでよく見ていました。最初に来たときの印象は夜中に一人で出歩いても安全で、街が清潔で、何でも小さく見えたことです（今はもう慣れたので気になりませんが）。それと外国人に親切だと思いました。

中国でひらがなとカタカナだけ自分で覚え、来日して日本語学校に入りました。昼間は勉強、夜はバイトしながら一年半で日本語能力試験1級を取得して、その後明治大学商学部に入學しました。

人生が一気に変わったのは、大学四年生の時文部省の国費奨学生になることができてからです。三年間の経済的余裕が出来、それならもっと勉強しようと思い大学院に進學しました。夫とも大学院で出会いました。もし、夫に出会わなかったら中国に帰っていたと思います。

卒業後は日本の企業で働きました。会社では誰も遅刻しないし、休みも取らない、そして上下関係も厳しいと思いました。お酒が入ると突然態度が変わる人が多いのも驚きました。

そして今でも本音と建前はよくわかりません。最初は建前しか見えませんでした。日本では本音は別にある文化なのだという事は、外国人は知っておいた方がいいと思います。日本人は本当の気持ちを出さない事が「美德」と捉えているようですが、外国人にはそれはわかりません。例えば、「来られる人は、なるべく来てください。」と言われる時、「なるべく」の意図は「何があっても来てください」なのか「本当に来られる人だけでいい」のか、その時の状況によって判断しなくてはならないので、どうしたらいいのか本当に戸惑います。

私とFICECの出会いは、中国から遊びに来た母が「日本語を勉強したい」と言うので連れて行き、その場でボランティアに登録することになってからです。その後仕事を辞めて時間ができた時に、小学校の取り出し授業を打診されました。奨学金の恩返しと思い引き受け、もう6年になります。

中国から来たばかりの子どもは最初言葉が通じないのでイライラしていて、ほかの子とケンカになったりすることもあります。ですから日本語を教



える以外にも中国語で話を聞いてあげたり、学校の事でわからないことに答えたり、もしいじわるされていたら先生に伝えるなどしているうちにだんだん子どもの気持ちも落ち着いていき、日本語を覚えたり学校になじんでいったりしていきます。

この仕事で楽しいのは最初全然日本語が話せなかった子どもたちが、成長して話せるようになる姿を見られることです。それぞれ個性の違う子どもたちに合ったやり方を見つけるまでが大変ですが、負けず嫌いな子にはしりとりをしてゲーム感覚で言葉を覚えさせたり、まじめな子には勉強が終わった後でシールをあげたり、また一緒に図書館に行って好きそうな絵本を選ばせて読み聞かせするなど工夫しています。時には親の方にも対処しなければなりません。中国では「偏差値」という基準がないので、偏差値70の人は上位2%、偏差値60の人は上位16%、偏差値50の人は上位50%と偏差値のイメージを説明した上で、100点満点のテストの場合、偏差値を5点あげるにはテストの点は大体10点もあげなければいけない事を説明すると、親も納得して子どもに無茶な要求はしなくなります。

最近では国の外国人児童に対する理解も深まってきており、ふじみ野市は退職した元教員を指導員として雇い、外国から来た子どもに週に5回日本語指導をしています。その中で私も週に2、3回サポートとして入っています。

日本に来た中国人には日本が好きになってほしいと思います。せっかく来たのだから良い所を見てほしい。日本人の考え方も尊重して合わせていく姿勢が大事だと思います。

## 「はたらくにほんご」を作りました

公益財団法人かめのり財団の令和3年度緊急プロジェクトの助成金を受けて、働くときに必要な日本語の冊子「はたらくにほんご」を作成しました。5か国語(英語・中国語・タガログ語・ベトナム語・スペイン語)訳付きで、教科書としても使用できます。内容はHPからPDFで閲覧可能です。冊子は希望する方に差し上げています。送付を希望される方はFICECまでご連絡ください。送料無料です。



## ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

### マンスリーサポーター募集中!!



在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサ

ポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただき、わたしたちの活動が今後も継続して行けるようになればと、切に願っております。ご理解ご支援をお待ちしています。

#### ◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004  
埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5  
電話 049-256-4290  
または 049-269-6450

FAX 049-256-4291  
ふじみの国際交流センター

マンスリーサポート係  
②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定

の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としとして対応させていただきます。

#### ◎スポットサポーター募集

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)または、現金書留でお願いいたします。

広告

## 45周年の感謝を胸に、未来へ!

株式会社 吉岡は、2022年をもって45周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。スタッフ一同、皆様の御期待に添えるようより一層努力してまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますことをお願い申し上げます。



紙の総合商社  
**YOSHIOKA**

TEL 049-253-4985 FAX 049-268-1500

〒356-0011 埼玉県ふじみ野市福岡561-3

MAIL : info@yoshioka-p.com URL : www.yoshioka-p.com



株式会社 吉岡は エヌエスティ・グローバルリスト(株)のグループ企業です。

○お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせください。



FICECの活動をご支援ください  
**会員・賛助会員・寄付のご案内**

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関誌をお送りします

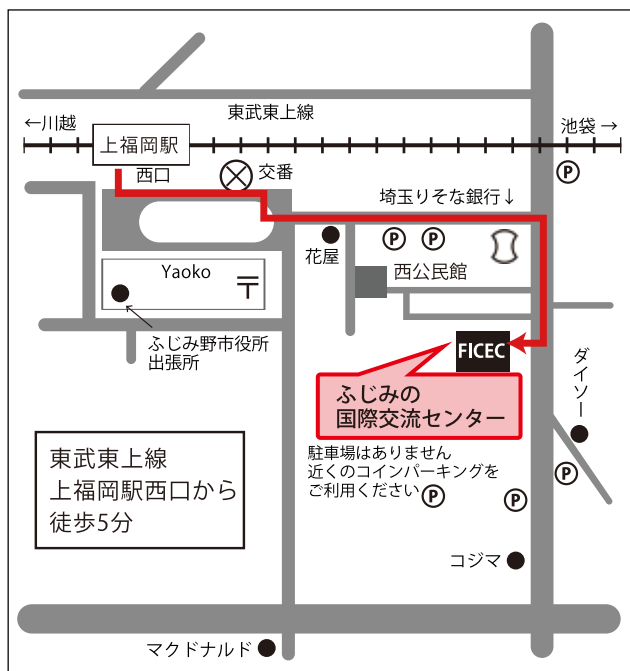
郵便振替口座: 00110-0-369511  
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

**外国人生活相談 無料**

月曜日～金曜日 10:00～16:00  
 電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
 FICECをご紹介します。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
**ふじみの国際交流センター**

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25  
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291  
 生活相談専用電話 049-269-6450

**ご寄付をいただいた方々**  
 ご支援ありがとうございます

●2021年4月25日～2022年4月25日(敬称略)

阿久津俊昭、穴沢エミリン、安部幸枝、新井順子、新井良司、荒田光男、安銀柱、石橋勝、伊藤愛、伊藤真弓、岩田愛子、上島直美、牛込亜紀子、内部利明、宇野理子、Elizabeth、尾浦邦彦、岡本直久、小熊千寿子、大室昭浩、柏木ひろみ、片倉ミン、神田歩、神田順子、菊池久美子、北林ジャネット、木村不二雄、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、樟山直美、久野弓枝、倉田喜美代、栗嶋三千代、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、小林洋輔、駒形一夫、酒井有香、坂入智子、坂口久身江、佐藤茂、佐藤ナンタワン、佐藤義治、塩野圭子、塩野悟、芝山喜巳子、嶋田薫、島田道子、清水昭彦、ジャパンミート1%還元、江科、進洸子、菅沼千代子、芹澤英樹、ゾシズザン、高田真央、高崎千鶴子、高橋真梨子、高橋睦代、武田和子、橋賢、立麻医院・稲荷山典子、田中功、田村しの、チンテイヴァン、坪田幹男、戸塚成子、富田恵子、豊島亮介、洞山恵理、永田信雄、仲野谷美恵、中村禎作、榎府憲太、野澤弘子、野元弘幸、萩原教生、長谷川正江、濱田明彦、半田栄子、東入間地区遊技業防犯協力会、保坂佐紀恵、星野秋梅、松井和子、松戸理江、松本好正、マハルジャン、三橋博之、茂木久美子、森下理恵子、森田有美子、矢澤美紀、山下順子、山畑博子、吉井ジュリエッタ、(株)吉岡、匿名2名

〈マンスリーサポーター〉

石井幸夫、石井ナナエ、遠藤慧子、太田政男、勝沼深、窪田和揮、小林久美、権田貴久子、佐藤直志、末吉智子、清家泰子、中嶋恵津子、中田好江、仲野公堅、中山浩子、野田恭三、野辺頼之、藤井みどり、八重樫紀久枝、吉田憲郎、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センターサービス案内		
外国人	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費
ゲスト派遣	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
講師派遣	多文化共生講座 ボランティア講座	20,000円+交通費 (活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 2,000円/ページ
	その他文書	A4 3,000円/ページ
通訳	半日5,000円+交通費	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日